

旅のみちくさ掲示板～宮古市～

岩手復興局が岩手のいろいろなものを紹介する「旅のみちくさ掲示板」。
2018年6月に岩手県初のフェリー航路となる宮古－室蘭フェリーが就航される
宮古市。新たな物流や観光のネットワークの創出が期待されています。
今回は宮古市で活動している宮古観光創生研究会の花坂代表に
ご協力いただいて、宮古の着地型観光を体験してきました。



昼食「浄土ヶ浜旅館」

楽天トラベル『朝ごはんフェスティバル』で岩手県一位となった浄土ヶ浜旅館で手巻き寿司をいただきました。

実際のツアーでは宮古市魚市場で行うセリ体験を組み合わせ、セリで落とした魚で手巻き寿司をすることもできるそうです。



笑顔も素敵なお女将
リピーターのファンも多い



この日の魚はマグロや帆立、イカ、どんこの肝和え、マダラ。なかでもマダラは鮮度が落ちるのが早く、生の刺身はなかなか食べることのできないもの。

水揚げをしている宮古だからこそ食べることができる一品です。

また、魚介だけではなく、短角牛ステーキも用意されています。

たくさんの具材から好きなものを挟んで手巻き寿司作りがスタート。お女将が二通りの巻き方を教えてくださいました。



一つは写真のような形の巻き方、二つ目は板前さんから教わったそうです。二つ目の巻き方はぜひ浄土ヶ浜旅館で教わってみてください。自分好みに具材を組み合わせる手巻き寿司。全員が手巻き寿司作りに夢中になったおいしくて楽しい昼食でした。

1か所目「黒森神社」

陸中海岸の漁業・交易を守護する山として広く信仰を集めてきた黒森山。山中にある黒森神社は「義経北行伝説」にゆかりがあるとされる場所の一つです。

境内には樹齢千年を超えるご神木の杉の木があります。
6～7月頃になると、参道に咲き渡るたくさんのアジサイが見られるそうです。宮古屈指のパワースポットにぜひ行ってみてください。



2か所目「高浜地区防潮堤」

既存のインフラや工事のインフラを対象とした『インフラストラクチャーツーリズム』。

今回は高浜地区防潮堤を見学しました。
震災前の防潮堤から約2メートル高い10メートルの防潮堤に上るときれいな宮古湾とともに工事の様子や復興状況など、今の復興の最前線を見ることができます。



3か所目「宮古市魚市場」



鈴木専務の
わかりやすい説明

1日に2回の水揚げがあり、昼間の時間に見学ができる宮古市魚市場。『イカ王子』として知られている共和水産の鈴木専務に魚市場を案内していただきました。

なんとマダラの水揚げ量日本一を誇る宮古市。この日も大きなマダラがカゴいっぱいに入って並べられていました。

午後に水揚げがあるのは岩手県では宮古市のみ。

朝出港して、午後の入札に間に合えばその日に揚がった魚を新鮮なうちに食べることができます。

見学をしている最中もいろいろな場所でセリが行われていました。

セリが間近で見られるのもこのツアーの醍醐味。

団体向ツアーで行っているセリ体験は外国人観光客や県外、市外から訪れる方にもとても好評だそうです。

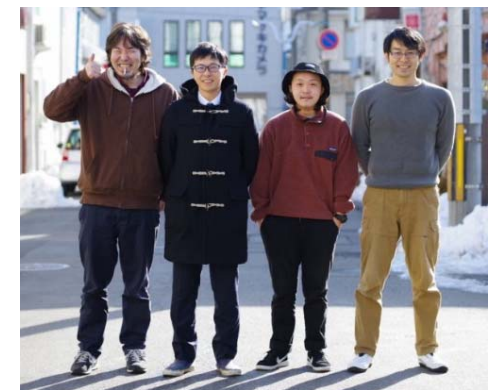


宮古観光創生研究会

今回ツアーガイドとして同行頂いた『宮古観光創生研究会』をご紹介します。宮古市近隣地域で活躍する若者を中心に2015年に設立されました。宮古市の観光に可能性を感じた多種多様な業種の若者が集まり、ともに学ぶために設立した団体です。今まで開催した勉強会は数え切れず、良い活動の話の聞けば、貪欲に吸収しにいく皆さんです。活動域は宮古市内に限らず、北海道室蘭市をはじめ、岩手県内外とも交流をもち、『宮古の魅力』を八方へ発信し続けています。総合旅行業務取扱管理者や通訳案内士の資格をもつ会員もあり、国内はもちろん海外から来られた観光客の対応も可能です。通常の旅行雑誌には載っていない・・・地元にいるからこそ案内ができる、地元ならではの「体験」を皆様にご提供致します。



ツアーの一例



観光創生研究会メンバー

◆宮古観光創生研究会

Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/kankousei/>

mail : comp@hanasaka.co.jp

◆浄土ヶ浜旅館

岩手県宮古市築地1-1-38

TEL: (0193) 62-1319

ホームページ

<http://jyoudogahamakaisyu.jp>

宮古市へのアクセス

